

【特許法・実用新案法：論点】

問 1

特許を受ける権利が共有に係るときの手続を問う。

- 1．共同出願
- 2．出願審査の請求ができる者
- 3．複数当事者の相互代表
- 4．代表者選定の効果
- 5．共同審判
- 6．特許を受ける権利の移転

問 2

拒絶理由の通知への対応を問う。

- 1．意見書の提出
- 2．明細書、特許請求の範囲又は図面の補正及びその要件
- 3．発明の単一性の要件
- 4．特許出願の分割

【意匠法：論点】

部分意匠に係る意匠登録出願と他の部分意匠及び全体意匠に係る意匠登録出願の関係、並びに部分意匠に係る意匠権の効力の及ぶ範囲についての理解を問う。

(1)

考えられる手続（部分意匠又は全体意匠に係る意匠登録出願、関連意匠制度の利用等）。

意匠登録の可能性（意匠の類否、先後願関係、意匠法第3条の2の適用可能性等）。

(2)

意匠権侵害の要件。

部分意匠に関する意匠の類否判断。

意匠権が消尽した旨の反論に対する再反論。

【商標法：論点】

外国の著名商標に類似する商標の不正目的による商標登録を事例に、商標の不登録事由、無効審判及び取消審判について問うとともに、あわせて、並行輸入と商標権侵害の成否について問い、商標法の多面的な理解度をみる。

(1) 設問(1)について

商標法第4条第1項第19号等を理由とする同法第46条の無効審判請求

商標法第50条の不使用取消審判請求

商標法第51条の不正使用取消審判請求

(2) 設問(2)について

商標法第4条第1項第11号に係る拒絶理由

設問(1)における審判請求による他人の先願登録商標の商標権の消滅等

(3) 設問(3)について

商標権侵害の要件

並行輸入が商標権侵害としての違法性を欠くとされる場合の商標を付す行為、商標権者及び商品の品質に関する要件